

2019 年度(令和元年度)

事業報告書

(第9事業年度)

自 2019 年 1 月 1 日

至 2019 年 12 月 31 日



公益社団法人 企業メセナ協議会
Association for Corporate Support of the Arts

目 次

I. 法人の概況	1
1. 公益社団法人設立年月日	
2. 定款に定める目的	
3. 定款に定める事業内容	
4. 公益法人の認定等に関する事項	
5. 会員の状況	
6. 役員等	
II. 組織運営の概況	3
1. 会議等の開催状況	
2. 部会・ワーキンググループによる事業・活動の推進	
III. 事業概要	5
公1:企業による芸術・文化支援および芸術・文化振興による社会創造の促進と普及	
1-1. 提言・提案活動	8
1-2. 調査研究事業	8
1-3. 認定・顕彰事業	10
1-4. 情報発信	13
1) 広報活動	
2) ウェブサイト運営	
3) 出版、ライブラリー	
1-5. 普及促進	16
1) メセナフォーラム等	
2) 国際交流	
3) メセナネットワーク	
4) 地域メセナ交流・推進	
1-6. コーディネート、協力	20
公2:芸術・文化活動等への寄付を促す助成に関する事業	
2-1. 2019年 重点活動	24
2-2. 2019年 助成事業活動状況	24

I. 法人の概況

1. 公益社団法人設立年月日

2011年1月6日

※ 1990年4月20日設立の旧社団法人は、移行認定に伴い2011年1月5日に解散登記を行った。

2. 定款に定める目的

この法人は、企業をはじめ芸術文化に関わる団体が参加、協働し、芸術文化振興のための環境づくりと基盤整備に努め、創造的で活力にあふれた社会、多様性を尊重する豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

この法人は、先の目的を達成するために、次の公益目的事業を行う。

- (1) 企業による芸術文化支援の促進と普及
- (2) 芸術文化支援に関する情報の収集・発信および仲介・協力
- (3) 芸術文化支援に関する調査・研究および文化政策に関する提言・提案
- (4) 国内外の芸術文化振興に関する団体・機関との交流・連携および企業相互の協力・連携による芸術文化支援の推進
- (5) 企業等による芸術文化支援活動の顕彰
- (6) 芸術文化活動への寄付を促す助成に関する事業
- (7) その他公益目的を達成するために必要な事業

この法人は、公益目的事業の推進に資するための事業を必要に応じ行う。

4. 公益法人の認定等に関する事項

当該事業年度3月18日に内閣府立入検査があり監査を受けたが、内閣府からは特段の指摘事項、勧告、または命令はなかった。

5. 会員の状況

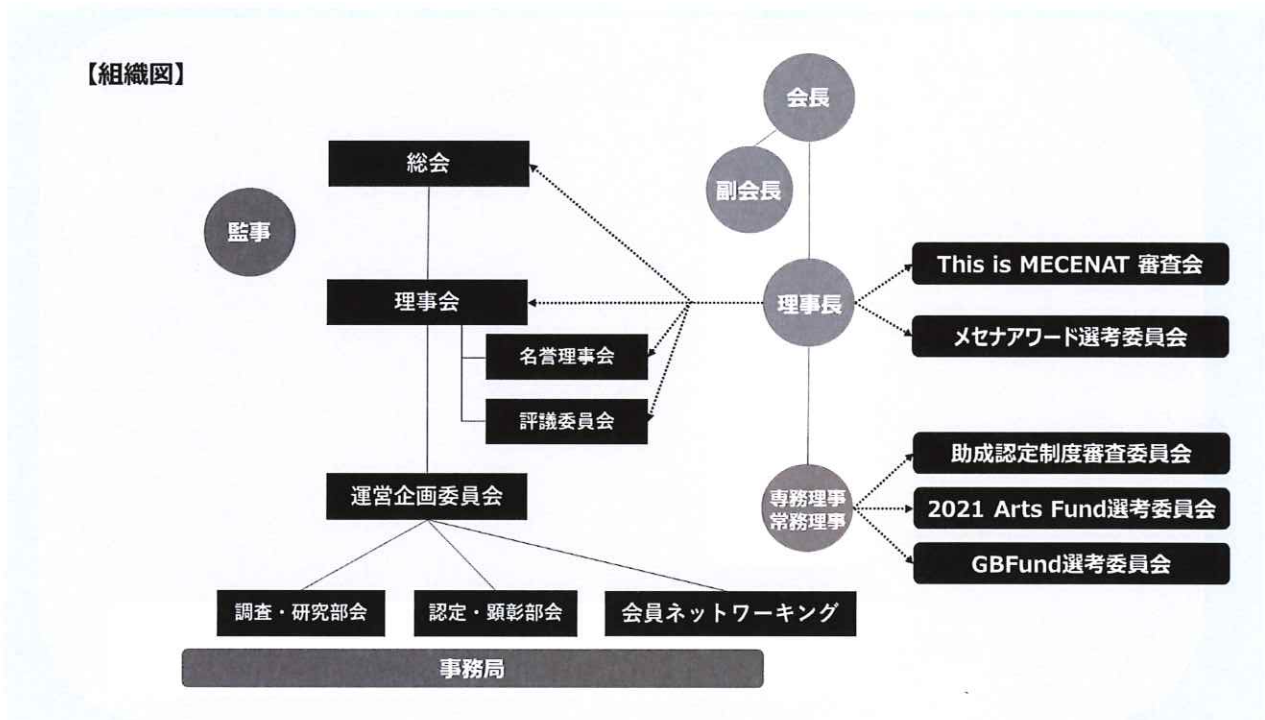
正会員:119社・団体 準会員:31社・団体/18名 (2019年12月31日現在)

6. 役員等

2019年12月31日現在

名誉会長	福原義春	株式会社資生堂 名誉会長
顧問	福地茂雄	アサヒグループホールディングス株式会社 社友
会長	高嶋達佳	株式会社電通 相談役
副会長	渡辺雅隆	株式会社朝日新聞社 代表取締役社長
理事長	尾崎元規	花王株式会社 前取締役会 会長
常務理事	澤田澄子	兼務 事務局長
理事	泉谷直木	アサヒグループホールディングス株式会社 取締役会長 兼 取締役会議長
	河島伸子	同志社大学経済学部 教授
	朽木英次	トヨタ自動車株式会社 社会貢献推進部長
	古賀信行	野村ホールディングス株式会社 取締役会長
	杉村亥一郎	一般社団法人日本印刷産業連合会 専務理事
	原島 博	東京大学 名誉教授 情報学環特任教授
	福川伸次	一般財団法人地球産業文化研究所 顧問
	二宮雅也	損害保険ジャパン日本興亜株式会社 取締役会長
	星 久人	株式会社ベネッセホールディングス 特別顧問
	山本尚美	株式会社資生堂 執行役員 チーフクリエイティブオフィサー
	吉本光宏	株式会社ニッセイ基礎研究所 研究理事
監事	岩田武司	よこはま第一法律事務所 弁護士
	岡部 亮	公益財団法人公益法人協会 前相談室室長
名誉理事	遠藤信博	日本電気株式会社 取締役会長
	北島義俊	大日本印刷株式会社 代表取締役社長
	佐治信忠	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役会長
	塚本能交	株式会社ワコールホールディングス 代表取締役会長
	早川 茂	トヨタ自動車株式会社 代表取締役副会長
	平田保雄	公益社団法人日本経済研究センター代表理事 会長
	福武總一郎	株式会社ベネッセホールディングス 名誉顧問
	藤本宣人	日本生命保険相互会社 取締役 常務執行役員
	渡邊光一郎	第一生命保険株式会社 代表取締役会長
評議員	足立直樹	凸版印刷株式会社 特別相談役
	奥村洋治	株式会社フジタ 代表取締役社長
	芝川能一	千島土地株式会社 代表取締役社長
	竹安 聡	パナソニック株式会社 参与
	田中稔三	キャノン株式会社 代表取締役副社長 CFO
	戸田裕一	株式会社博報堂DYホールディングス 代表取締役会長 CEO
	前田晃伸	株式会社みずほフィナンシャルグループ 名誉顧問

Ⅱ. 組織運営の概況



1. 会議等の開催状況

【定時社員総会】

- 3月8日:2018年度事業報告並びに収支決算の件／新理事選任の件

【通常理事会】

- 2月15日:新会員承認の件／2018年度事業報告並びに収支決算(案)の承認の件／理事選任案上程の件／定時社員総会の招集／代表理事・執行理事の職務執行状況の報告、日本博の実施について
- 12月5日:2020年度事業計画・収支予算(案)の件／資産取得資金積立の件／30周年記念事業準備金積立の件／新会員承認の件／内閣府立入検査(2019/3/18)結果報告及び今後の対応について／代表理事・執行理事の職務の執行状況の報告／日本年金機構の社会保険調査(2019/11/5)の報告／会員動向について／事業活動報告について

【臨時理事会】

- 5月7日:新会員承認の件

【運営企画委員会】

- 1月29日:2018年度事業報告と決算／30周年記念事業について／凸版印刷株式会社のCSRの取り組みについて
- 7月30日:新任委員の紹介／上期活動報告／SOMPOホールディングスグループのCSRおよび文化・芸術に関する取り組みについて

- 11月11日:新任委員の紹介/2019年度事業計画(案)について/30周年記念行事について/株式会社みずほフィナンシャルグループのCSRへの取り組みについて

【役員・運営企画委員会合同会議】

- 2月15日:新会員承認の件/2018年度事業報告並びに収支決算(案)の承認の件/理事選任案上程の件/定時社員総会の招集/代表理事・執行理事の職務執行状況の報告、日本博の実施について/日本経済新聞社の紹介と社会貢献活動について
- 12月5日:2020年度事業計画・収支予算(案)の件/資産取得資金積立の件/30周年記念事業準備金積立の件/新会員承認の件/内閣府立入検査(2019/3/18)結果報告及び今後の対応について/代表理事・執行理事の職務の執行状況の報告/日本年金機構の社会保険調査(2019/11/5)の報告/会員動向について/事業活動報告について

2. 部会・ワーキンググループによる事業・活動の推進

(◎:部会長/グループリーダー、○:サブリーダー 敬称略 *2019/12/31現在)

【調査研究部会】(3回:2/4、11/26、12/18)

企業・企業財団によるメセナ活動の実態や傾向、意識等を調査・分析し、メセナを担う実務担当者に情報を提供するとともに広く社会に紹介。メセナに関する研究の提案、方向性を検討する。

◎森実尚子(日本電気)、上坂陽次郎(朝日新聞社)、吉本光宏(ニッセイ基礎研究所)

【認定・顕彰部会】(4回:4/24、7/18、7/31、12/10)

メセナに取り組む企業・企業財団等を励まし、社会からの関心を高めることを目的として、百社百様のメセナを認定する「This is MECENAT」について議論し、顕彰事業「メセナアワード」の運営を担う。

◎片島康彦(電通)、石橋響子(大日本印刷)、泉 菜々子(第一生命)、反町弘智(東日本鉄道文化財団)、松原千春(竹中工務店)、向井利夫(JTB)

【会員ネットワーキンググループ】(3回:2/6、5/15、10/3)

会員相互の交流・連携強化を目的とし、情報交換・相談・研鑽等を恒常的に行える場を設ける。各事業に関連つけた会合を開き、相互のネットワークづくりに貢献する。

◎宗村 泉(凸版印刷)、長島彩路(朝日新聞社)、伊藤由貴子(神奈川芸術文化財団)、岡部三知代(竹中工務店)、中島明日香(白寿生科学研究所)、村山雅江(ベネッセホールディングス)、小森福見(リクルートホールディングス)、鈴木久美子(リソー教育)

Ⅲ. 事業概要

2020年以降に向け、協議会の基盤整備と発信力強化に取り組む。
芸術文化を通じた社会創造に資するべく社会の変化に対応しながら活動を展開

昨年度に引き続き、本年度も協議会としての価値を今まで以上に発揮できるよう、組織全体として有機的に活動できる体制の強化に努めた。①調査・研究、②認定・顕彰、③助成を事業の柱とし、会員ネットワーク、セミナー、広報活動を横断的に実施した。基盤となるシステムについても2020年以降を見据えた改善を行った。

発信力強化については、複雑化して解りにくくなっているWeb.の全面リニューアルの準備をスタートさせた。2020年3月完成予定。また、今まで手付かずであった協議会設立以来作成された出版物などの貴重な資料を適切に保存し、幅広く有効活用するため、順次電子データ化を進めた。2020年のWeb.の全面リニューアル後、可能なものからWebライブラリーでの公開を目指す。

2020年の協議会設立30周年、またその先を見据え、本年度も運営企画委員会や部会のメンバーなどと協議会や各事業のあり方について検討を行った。また、会員の皆様や外部の様々なステークホルダーの方々とのコミュニケーションに努めながら、社会の変化に対応した活動になるよう改善・充実を図り、プラットフォームとしての役割を果たすよう努めた。

調査事業では、5月に2018年メセナ活動実態調査報告会とともに「第2回SDGsとメセナ」、10月には「第3回SDGsとメセナ」というテーマでセミナーを実施して多くの参加者を得た。今後さらにメセナを充実させながら進める上で、SDGsの中でどのように役割を果たして行くのかが重要なテーマであることがわかる。

認定・顕彰事業においては、メセナ認定制度「This is MECENAT」(TIM)が6年目となり、戦略性を持った広報を行う事にもより、着実に認知度が上がってきている。調査事業との連携による新規活動の掘り起こしと前年度認定された活動へのヒアリングを積極的に行うだけでなく、大手メディア、地方紙に積極的にアプローチするなど外部発信の機会をできるだけ多くできるように努めるなど発信力の強化に努めた。

本年度のメセナアワードでは、企業理念に基づく取組み、本業を活かした活動、地域活性化への取組み、などが受賞した。企業の思いを体現する活動が日本全国で繰り広げられており、企業メセナが日本の芸術文化の基盤を支えているのみならず、未来の社会構築に積極的な役割を担っていることが明らかになっている。

助成事業では、事業の体系化の準備を進めた。システムを利用しての活動申請、寄付申請も定着してきている。さらに活用してもらうために、利用者にとって使いやすいシステムにするための改善・改革案を策定するなど、2021年度に実行できるように準備を進めた。また、「GBFund」については、2017年1月から「芸術・文化による災害復興支援ファンド」としてより幅広くとらえ継続しているが、昨年度から運用規程を整え、協議会のコーディネートにより寄付者の要望に沿って被災地支援を行っていく形で対応している。本年度も寄付者の要望による支援をコーディネートした。

また、2020年の協議会30周年記念事業の準備をスタートさせた。まず、今でも需要のある「アプローチガイド」(2020年3月完成予定)と「メセナを知る本 1990-2010」のリニューアル(2021年3月完成予定)に着手した。また、2020年3月5日に30周年記念交流会を開催するよう準備を進めている。

【2019年度事業等実施状況】

月	主な事業・活動	理事会・部会等
1月	賀詞交歓会(1/22) 助成相談日(1/17,29)	第1回運営企画委員会(1/29)
2月	SOMPOアート・ファンド第4回選考会(2/1)★ 助成相談日(2/28) 会員ネットワーキング勉強会「エスパス・ルイヴィトン東京」視察ツアー(2/26)	会員NW① 第17回通常理事会(2/15) 第2回運営企画委員会(2/15) 調査研究①
3月	特別講演会(3/8)「文化と社会－文化芸術基本法改正、「新・文化庁」、そして日本博－」 SOMPOアート・ファンド ネットワークミーティング 2019 開催(3/5) 助成・2021 審査会(3/13) 『2018年度メセナ活動実態調査報告書 Mecenat Report2018』発行(3/25)★ TIM 募集(3/15-5/15)★	第9回定時社員総会(3/8)
4月	助成相談日(4/17)	認定・顕彰①
5月	アワード募集(-5/31)、助成相談日(5/24) 「2018年度メセナ活動実態調査」報告会 および「SDGsとメセナ vol.2 企業活動紹介」セミナー(5/21) 会員ネットワーキング勉強会「ART FACTORY 城南島」見学ツアー(5/28) 2019年度メセナライター(第5期)公募(5/14-6/17)	会員NW② 第5期メセナ・アソシエイトMTG④
6月	助成・2021 審査会(6/24)、助成相談日(6/27) TIM 審査会(6/14)★	
7月	新入会員ファーストミーティング(7/10) 助成相談日(7/26)	認定・顕彰②③ 第3回運営企画委員会(7/30)
8月	「SOMPOアート・ファンド」フィールド視察(愛知:8/9、中之条:8/23)、助成相談日(8/26) メセナ音楽部「ガトーフェスタ ハラダ」視察ツアー(8/30) 第6期メセナ・アソシエイト公募(8/1-8/31)	第6期メセナ・アソシエイトMTG①
9月	アワード選考会①(9/10)、②(9/17) 助成・2021 審査会(9/25) 助成相談日(9/18/,30)	
10月	オランダ ゴッホ美術館来局(10/8)、助成相談日(10/28) アワード記者発表会(10/18)★ 「SDGsとメセナ vol.3, SDGsで語るメセナ・メセナで語るSDGs」(10/25)	会員NW③ 第6期メセナ・アソシエイトMTG②
11月	「SOMPOアート・ファンド」フィールド視察(広島)(11/4-5) アワード贈呈式(11/20)	第4回運営企画委員会(11/11) 調査研究②
12月	助成・2021 審査会(12/9)	第18回通常理事会(12/5) 第5回運営企画委員会(12/5) 調査研究③ 第6期メセナ・アソシエイト中間発表会(調査部会内) 認定・顕彰④

★はプレスリリースを配信

1: 企業による芸術・文化支援および芸術・文化振興による社会創造の促進と普及

1-1. 提言・提案活動

■行政、自治体など公的機関の文化政策活動への参画

- 東京都のボランティア活動推進協議会へのメセナ案件の推薦を受嘱し推薦
- 静岡県文化審議委員会の委員として文化振興基本計画に参画
- 船橋市文化振興推進協議会の委員として、文化振興施策の評価、提言などを行い総合的な推進に参画
- 文化庁 文産官連携会議に委員として任命され受嘱

1-2. 調査研究事業

2019 年度の調査研究事業では、国内のメセナに関する調査、国内のメセナ事例の研究(メセナ・アソシエイト)、外部機関からの調査受託・相談対応の 3 点に重点を置いて業務を推進した。

■国内のメセナに関する調査

- 例年日本の企業・企業財団へ行っている「メセナ活動実態調査」では、アンケートを中心にデータを収集し、昨年同様幅広い観点からメセナ活動の実態を把握することに努めた。これにより企業 319 社・企業財団 163 団体より回答を得ることができた。
- 『2018 年度メセナ活動実態調査報告書 Mecenat Report 2018』を 3 月 25 日に発行し、事例紹介を増やして報告書の充実をはかった。さらに、プレスリリースを 3 月 26 日に配信し、おもに企業や官公庁より問い合わせをいただいた。また、発送先を増やして企業や官公庁のみならず、国内のアート関係者の方々へも幅広く調査結果を活用してもらえよう努めた。
- 2018 年度のメセナ活動実態調査の結果報告と内容の理解促進を目的に 5 月 21 日に報告会を開催した。合わせて報告書でも取り扱ったテーマで、現在大きな関心を集めている「SDGs とメセナ」の連続セミナー第 2 回目として、大和ハウス工業株式会社 サステナビリティ企画部 ソーシャルコミュニケーショングループ グループ長で同社メセナ活動「Daiwa Sakura Aid」のリーダーの内田雄司氏、株式会社 JTB 広報室担当部長の向井利夫氏の 2 名を招き、各社の取り組みについてご講演いただき、モデレーターに立教大学社会学部/大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授の萩原なつ子氏を迎え、ゲスト 2 名の講演内容をふまえた企業メセナの現在とこれからのについて意見交換の場も設けた。参加者アンケート提出 29 名全員から「満足/非常に満足」の好評を得た。
- 2019 年度の調査研究部会は 3 回実施した。第 1 回目は、昨年度実態調査の集計結果の中間報告をもとに報告書と報告会の内容について意見交換および検討を行った。第 2 回目は、部会長と事務局で 2018 年度の振り返りと 2019 年度実態調査の中間報告に向けた事前打ち合わせを行った。第 3 回目は、第 2 回目の部会をもとに実態調査の集計結果を分析し、各企業のメセナ活動の現状をより実態に則して把握できるよう検討を行った。

「SDGs とメセナ」vol.2 「2018 年度メセナ活動実態調査」報告会および企業活動紹介セミナー

- 実施日 2019 年 5 月 21 日(火) 16:00～18:00
- 会場 SHIBAURA HOUSE 5F バードルーム
(東京都港区芝浦 3-15-4)
- 登壇者 調査研究部会部会長:森実尚子(日本電気(株))
ゲスト:内田雄司(大和ハウス(株))
:向井利夫((株)JTB)
モデレーター:萩原なつ子(立教大学)
- 参加者 42 名(登壇者・随行者:4 名、会員:27 名、一般:10 名、プレス:1 名)

※文化庁 平成 31 年度「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」委託事業



■国内のメセナ事例の研究(メセナ・アソシエイト)

- 2014 年度より導入した「メセナ・アソシエイト」は、外部の若手研究者が各自の専門性を活かしながら関心あるテーマを設け、企業メセナについて研究を行うものである。ライブラリーミーティングで議論を深め、調査研究部会と意見交換を行いながら自らのテーマを探り、企業各社への取材を行い、メセナの事例研究を行っている。
- 第 5 期のメセナ・アソシエイト(1 名)は、定期的に事務局とミーティングを行い、3 社へ取材を行った。完成したレポートは 8 月に協議会ウェブ上に掲載した。

第 5 期メセナ・アソシエイト

氏名	タイトル	取材企業・施設
柳沢ゆかり	今の日本に求められているメセナ活動とは	富士フィルム株式会社、第一生命保険株式会社、株式会社ビームス

- 2019 年度第 6 期も 2018 年度と同様に、過去に論文執筆経験があり、芸術文化分野における職務経験などを有する方を対象に 8 月に募集し、選考を経て 2 名採用した。(応募人数:3 名、採用人数:2 名)
- それぞれのテーマの一つは、「ライカ社の写真史・写真文化に関するメセナ活動について(仮)」で、企業の宣伝活動の中におけるコーポレート・アイデンティティの打ち出し方をライカ社のメセナ活動をもとに国内および国外法人の比較を通して明らかにする。もう一つのテーマは、「継続する企業メセナ～沖縄の伝統芸能を巡って(仮)」で、沖縄県の新聞社 2 社へ取材を行い、メセナが継続する

ための手法を明らかにする。また、公的セクターになるが、琉球芸能事業を行う横浜能楽堂へも取材を行い、企業メセナとは異なる視点を加えた比較分析も行う。

■外部機関からの調査受託・相談対応

調査依頼・問合せ等	読売新聞、産経新聞、アートサポートふくおか、日本生命保険相互会社、凸版印刷株式会社、ACC日本財団など
記事掲載等	・文化庁 HP メセナ活動実態調査(文化庁) 2019年12月掲載開始 ・統計要覧2020(日本政策投資銀行) 2019年12月発行

1-3. 認定・顕彰事業

「This is MECENAT」

■メセナ認定「This is MECENAT」、継続認定活動が増加

- メセナ認定制度「This is MECENAT」(以下「TIM」)は6年目に入り、これまでの登録件数は延べ833件となった。新たな審査委員1名を迎え、TIM2019審査会では165件、93社・団体(2018年度:149件、87社・団体)の活動を認定した。登録件数、認定企業・団体数ともに増加した。
- 「年度認定」が認知されつつあることで継続応募数が年々増加しており、TIM2019でも継続して認定される活動が121件(前年度:112件)となった。

■他事業との連携による新規活動の掘り起こし強化

- 広報や調査研究事業と連携し、外部のプレスリリース配信サービスを利用し告知先を拡大し、調査回答企業へ積極的に働きかけるなど、新規活動の掘り起こしを行った。その結果、2019年の新規登録の企業・団体は24社・団体(前年度:20社・団体)で、会員8社・団体、非会員16社・団体となり、昨年同様、非会員企業が会員企業の登録数を上回った。今後も継続して新規活動の掘り起こしを行っていく。

■リーフレットやSNSの活用による情報発信の強化

- リーフレットで活動事例を紹介することによって多様なメセナ活動について理解しやすくするとともに、担当者の声を載せることでTIMの認定によるメリットやメセナマークの活用方法を分かりやすくするようにした。
- Instagram等のSNSを利用した認定活動の告知・視察報告や、メセナライターによる取材記事のウェブ掲載、TIM特設サイトでの月毎の活動紹介など多様な発信媒体を活用し、認定活動の情報を発信した。
- 認定活動には「メセナマーク」(通称Mマーク)を付与しているが、活用例としてWEBやチラシ等の印刷物に載せるほか、プレスリリースへのマークの掲載などの事例が見られた。これらの露出も増えてきており、当制度の認知度および価値が少しずつ高まってきている。

This is MECENAT リーフレット(認定企業の担当者の声)


認 定 企 業 の 声

株式会社 講談社

「本とおそぼう
全国訪問おはなし隊」

▲担当者の名刺にはThis is MECENATのロゴを貼っています。

2019年、20周年を迎える「おはなし隊」は、全国の読書推進活動に携わる方々のご存じですが、一般の企業の方には講談社がこのような取り組みを行っていることがあまり知られておりません。「This is MECENAT」応募のきっかけは、社の事業である「おはなし隊」の認知度を高め、今後の活動に生かしたいという思いからです。(ご担当 藤さんより)




株式会社リソー教育

「第20回 トーマス・コンサート」
「第14回 クリスマスパレエ公演」

▲パンフレット等にメセナマークを使用しています。

「勉強+1」の理念のもとに、子どもたちに本物の体験を提供する「クラシックコンサート」や「クリスマスパレエ」の企画運営を、プログラム内容から選曲、誘導に至るまですべて社員が手作りで行ってまいりました。「This is MECENAT」に申請し、認定されたことで、このイベントの意義を客観的に評価・実感できたように思います。(ご担当 松原さんより)

This is MECENAT
2019 マーク



**THIS IS
MECENAT
2019**

「メセナアワード」

■「メセナアワード 2019」を選考、歴史的建造物による建築文化の発信活動などが受賞

- 「メセナアワード 2019」は「This is MECENAT 2018」で認定された活動 149 件を対象としており、5月中旬の締切りまでに 33 件の応募があった。また、認定・顕彰部会での 2 度にわたる検討会により推薦された活動を含め、最終的に全 46 件を審査委員に提案した。
- 対象案件については、調査のため事務局が 4 社・団体へ取材に赴き、9月中旬に選考会を 2 回実施。メセナ大賞 1 件、優秀賞 5 件、特別賞として文化庁長官賞 1 件(文化庁後援)を選出、優秀賞の賞名は評価ポイントを反映させるべく、審査委員が考案した。
- 歴史的建造物による建築文化の発信活動、駅の空間を活用した文化活動、新しい文具・製品への挑戦の機会をつくるコンペティション、音楽を通じた社会貢献活動、地域の魅力を発信し交流の場をつくるパフォーミングアーツフェスティバル、地域の自然と文化を調和させた取り組み、高精細複製品の制作による文化財の保護・普及活動が受賞。経営資源を活かし、地域に貢献する活動が評価された。

■記者発表会、リーフレット制作による受賞活動の広報発信

- 10月18日にプレスリリースを配信(文化庁同時)し、記者発表会を実施した。主要メディアをはじめ業界紙、専門誌など 18 社(18 名、うち電話取材 1 社)の記者が参加した。受賞活動発表から贈呈式まで含めメセナアワード関連記事数は 126 件となり、大賞を受賞した竹中工務店を中心に建築業界や写真業界の媒体や、地方企業の受賞コメントを交えた記事が掲載された。
- 贈呈式の開催にあわせてリーフレットを制作し、受賞活動の紹介、大賞受賞のトップインタビューなどに加え、新たに来年度アワード選考の対象となる TIM2019 活動一覧を掲載した。出席者への配布のほか、協議会関係者約 1,600 社・団体へ郵送した。連動して協議会 WEB サイトでは、式典での受賞各社の代表スピーチや選考評などもあわせて、レポートとして掲載した。

■贈呈式開催、若手新人作家によるトロフィー創作

- 贈呈式および記念レセプションを 11 月 20 日にスパイラルホール(青山)にて開催。大賞を受賞した株式会社竹中工務店 宮下正裕会長はじめ各社のトップが登壇し、受賞の喜びをスピーチした。また、今里 譲文化庁次長、審査委員が出席したほか、協議会会員や文化関係者など約 190 名が集い、プレス関係者は約 20 名が出席した。

- レセプションでは、アサヒグループホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社よりドリンクの協賛をいただいた。また、受賞活動紹介の場として、展示スペースを設置するとともに受賞企業に演目等を披露いただいた。
- トロフィー制作は、アワード当初より若手芸術家の育成のためスパイラル／ワコールアートセンターの協力のもと、3年ごとに新人作家に委託している。本年度も前年度に引き続き青木美歌(あおきみか)氏にオリジナルのトロフィー制作を依頼した。



「メセナアワード 2019」贈呈式



「メセナアワード 2019」オリジナルトロフィー
(メセナ大賞)

【「メセナアワード 2019」受賞活動および受賞企業・団体】

	メセナ大賞	株式会社竹中工務店 木造モダニズム建築「聴竹居」による社会貢献と建築文化発信
優秀賞	アートやで中之島賞	京阪ホールディングス株式会社 京阪電車中之島線なにわ橋駅「アートエリア B1(ビーワン)」 における社学・地域連携文化活動
	文具を超える文具賞	コクヨ株式会社 「コクヨデザインアワードプロダクト」プロジェクト
	耳を澄ませば心に響く賞	日本ユニシス株式会社 川島成道コンサートプログラム
	世界と島で踊りま賞	株式会社パソナグループ Awaji Art Circus 2018
	花とアートの森あわせ賞	六花亭製菓株式会社 六花の森の企画・運営
	特別賞:文化庁長官賞	キャノン株式会社 綴プロジェクト

【This is MECENAT 2019/メセナアワード 2019 審査委員】

- 原島 博 (東京大学名誉教授) *審査委員長
 大谷能生 (音楽家/批評家)
 中島信也 (東北新社取締役副社長/CM ディレクター)
 萩原なつ子 (立教大学・教授/(認特)日本 NPO センター代表理事)
 馬淵明子 (国立西洋美術館長)
 尾崎元規 (企業メセナ協議会理事長)

*以上五十音順、敬称略

1-4. 情報発信・提供

■ 広報活動

(1) プレスリリース

各事業の年間計画に基づき、協議会として効果的な配信に努めた。PR TIMES などの配信サービスの積極的な利用や重点課題となっていた各事業との連携が定着化し、それにもなう広報戦略の策定・実践により記事化される数の増加など、効果が見え始めた。

また配信先の広報関係名簿およびメディアリストの精査を実施し、今後の名簿運用ルールを検討した。今後は活きたリストを利用できるよう都度精査・更新を行い土台づくりにとりかかった。

【プレスリリースによる情報発信:6件】

No.	配信日	リリースタイトル
1	2/14	芸術・文化活動を支援するホテルオークラ東京の「Hotel Okura Tokyo Cultural Fund」第3回助成子どものための伝統文化体験と国際交流を支援
2	2/21	「SOMPO アート・ファンド」第4回助成決定 全国各地の多彩でユニークな芸術・文化活動を支援
3	3/15	「This is MECENAT 2019」3/15より募集スタート 企業メセナ協議会が全国のメセナ活動を認定 —企業が取り組む芸術・文化を通じた社会創造活動を認定・発信
4	3/26	SDGs 達成への貢献に向けて社会的インパクトを重視 ～2018年度メセナ活動実態調査 結果～
5	6/27	メセナ活動認定制度《This is MECENAT 2019》 企業による芸術・文化支援活動 166 件を認定
6	10/18	「メセナアワード 2019」受賞7活動決定 メセナ大賞は(株)竹中工務店 木造モダニズム建築「聴竹居」による社会貢献と建築文化発信

【事業関連記事のメディア掲出数】

年	協議会全体	メセナアワード	TIM	調査研究	助成	国際	その他
2018	3	107	29	1	11	1	185
2019	4	126	47	5	1	0	23

(紙面、ウェブ掲載含む)

※2018年「その他」185件のうち、福原義春名誉会長の平成30年度文化功労者選定に関する記事は159件

【主な掲出記事】

掲載日	媒体	内容	関連事業
5/1	月刊事業構想	「メセナ活動実態調査」2018年度結果が公開	調査研究
6/27	朝日新聞デジタル&M 産経新聞 NEWS	メセナ活動認定制度《This is MECENAT 2019》企業による 芸術・文化支援活動 166 件を認定	This is MECENAT
7/5	十勝毎日新聞	六花亭 メセナ活動認定 2年連続 「六花の森」の運営で道 内企業で唯一	This is MECENAT

掲載日	媒体	内容	関連事業
7/16	大分合同新聞	プロジェクト ONICO 季刊 iichiko メセナ活動に認定	This is MECENAT
8/24	山形新聞	ヌマザワ(新庄)の地域貢献活動プラン 「優良なメセナ」に認定 県内初	This is MECENAT
9/27	中日新聞	新時代の刀鍛冶へ夢熱く 体験講座、海外パフォーマンス… 「憧れの仕事に」 羽島の浅野さん ユニーク活動	This is MECENAT
10/19	北海道新聞	文化振興に貢献 六花亭が優秀賞 メセナアワード	メセナアワード
10/19	朝日新聞	メセナ大賞に竹中工務店	メセナアワード
11/5	保険毎日新聞	損保ジャパン日本興亜 第5回「SOMPO アート・ファンド」公募 国際交流・地域の活性化に貢献	助成
11/20	読売新聞	メセナ大賞に竹中工務店「聴竹居」	メセナアワード
11/26	日経産業新聞	五輪で文化発信、複製を活用(キヤノン)	メセナアワード
11/27	毎日新聞	重文「聴竹居」の活動 竹中工務店に大賞 メセナアワード	メセナアワード
12/16	日本経済新聞	メセナ大賞に竹中工務店 建築文化の発信評価	メセナアワード

(2)ウェブサイト運営

引き続きウェブサイト・SNS・メールマガジンの連携強化を進め、会員のメセナ情報、協議会活動を発信

- 引き続きウェブサイトを中心とした情報発信に注力し、会員のメセナ活動(アート&カルチャー)、協議会事業のレポート掲載を行い、メールマガジン、Facebook との連動を強化。SNS における発信は運用ルールを定め発信頻度の定着化を図るとともに、ハッシュタグの利用など効果的に拡散できるよう工夫をした。トップページで会員のメセナ活動を紹介する「アート&カルチャー」では 149 件・21 社の活動を掲載した。
- 2020 年 3 月リリースに向けて引き続きウェブサイトリニューアルを進め、現行サイトすべてのページの精査および再編集を行った。

【企業メセナ協議会ウェブサイトへの年間アクセス数】

	セッション数 (訪問回数)	ユーザー数 (訪問者数)	ページビュー (閲覧数)
2017 年	109,786	72,838	411,544
2018 年	107,031	73,921	386,761
2019 年	112,640	82,219	375,417

※(外部サイトの「かるふあん」「TIM」サイトを除く)
※SNS フォロワー数: Facebook 2,024、Twitter 1,728、Instagram 65

(3)メールマガジン

ウェブサイト「アート&カルチャー」掲載の会員活動や協議会のイベントニュースの紹介を中心に、月 1 回(月初)に定期配信を行った。そのほか事業と連携して主催イベントや募集の周知、募集会員向けの

優先情報配信として「会員限定メルマガ」など、適宜不定期に配信を行った。メルマガ配信数は会員約 550 件、一般(協議会関係者・利用者)約 2,200 件。メセナ担当者や幅広い文化関係機関への情報発信ツールとなっている。

(4)メセナライター制度

昨年に引き続きメセナライターを募集～選定後、委嘱をし、会員を中心にメセナ活動取材し、レポートを作成。ホームページへ掲載した。

第5期(2019年7月～2020年3月)委嘱ライター4名(新規2名、継続2名)

【メセナライターレポート掲出数:8件】

公開	タイトル	ライター
1月	企業メセナ訪問記 Vol.8 公益財団法人ソニー音楽財団 第12回 国際オーボエコンクール・東京	福田里香
1月	企業メセナ訪問記 Vol.9 第9回メセナ美術部「銀クリ」ツアー	天田 泉
3月	企業メセナ訪問記 Vol.10 第6回 会員ネットワーキング勉強会 エスパス ルイ・ヴィトン東京 視察ツアー ～海外メセナに学ぶ～	中原和樹
7月	企業メセナ訪問記 Vol.11 トヨタ自動車株式会社 ウィーン・プレミアム・コンサート	福田里香
9月	企業メセナ訪問記 Vol.12 株式会社ブルボン(公益財団法人ブルボン吉田記念財団)ドナルド・キーン・センター柏崎	中原和樹
10月	企業メセナ訪問記 Vol.13 公益財団法人吉田秀雄記念事業財団 アドミュージアム東京	中原和樹
12月	企業メセナ訪問記 Vol.14 株式会社原田・ガトーフェスタハラダ ～会員ネットワーキンググループ 第3回メセナ音楽部 視察ツアー～	福田里香
12月	「SDGsとメセナ」vol.3 SDGsで語るメセナ・メセナで語る SDGs 開催レポート	石川聡子

■出版、ライブラリー

メセナ情報の提供とライブラリー運営、協議会出版物の電子データ化

- 協議会に蓄積された出版物を有効活用するため、引き続き、これまで協議会が発行してきた出版物の電子データ化を行った。これらの有効活用を図るため、ウェブリニューアルにあわせてウェブライブラリーとして公開することを検討。
- 既刊発行物の販売を実施【年間売上件数:15冊】
 - 『メセナセミナーシリーズNo.10 企業へのアプローチガイド』(2007年3月発行) 12冊
 - 『メセナを知る本』(2010年12月発行) 3冊
- 協議会事務所内のライブラリーでは、企業メセナ、社会貢献、CSR 活動および文化政策、アートマネジメント等に関する情報収集活動を行い、レファレンス対応も積極的に行った。
- 蔵書・資料の整理をすすめるとともに保管ルールを見直し、ライブラリーが広く有効活用されるよう検討した。

【ライブラリー概要】

公開時間	月曜～金曜日、11:00～17:00(要電話予約)
開架資料	<ul style="list-style-type: none"> 和書・報告書: 1,627 冊(企業と文化・社会貢献、文化行政・文化政策、アートマネジメント・文化経済学、公益法人・NPO・文化税制、名簿・年鑑・一覧) 洋書: 563 冊(14 カ国の文化政策、アートマネジメント関連) 企業・企業財団の資料: 約 960 企業・団体分 新聞・雑誌掲載記事(1989 年 12 月～2019 年 12 月) 定期刊行物: 行政、芸術団体、研究機関、NPO、他
閉架資料	<ul style="list-style-type: none"> 映像・音声資料: 265 点(主催セミナー: 1998-2001 年)、メセナアワード贈呈式: ~2008 年 他)
年間利用者数	5 名(個人会員: 1 名、一般: 4 名)

5. 普及促進

セミナー・フィールド視察

■ 近年の文化政策の動向や時代のニーズを捉えた講演会・セミナーを実施。

- 協議会事業に関連する講演会や、調査事業と絡めて各分野の専門家や大学教授などを講師に、企業メセナ・文化政策に関する知見を深めるセミナーを企画・実施した。会員企業担当者をはじめ、芸術文化財団、文化施設などの幅広い文化関係者が参加し、知識を深める機会となった。当日の講演内容については、協議会ウェブサイト上に開催レポートとして報告・発信した。

特別講演会「文化と社会 —文化芸術基本法改正、「新・文化庁」、そして日本博—」

東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、芸術文化の創造・伝承と社会的・経済的価値の創出との循環を生み出すため、現在の日本の文化政策の動きや企業に期待することについて、日本芸術文化振興会理事長で「日本博」の推進役でもある河村潤子氏より講演いただき、企業メセナの意義を改めて考える機会として開催した。

- 日時: 2019 年 3 月 8 日(金) 14:00～14:40
- 会場: 大手町フィナンシャルシティ・カンファレンスセンター ホール 1
- 登壇者:
河村潤子(独立行政法人日本芸術文化振興会理事長)
- 参加者: 64 名(会員 36 名、一般 28 名)



SDGs とメセナ vol.3 「SDGsで語るメセナ・メセナで語る SDGs」

「SDGsとメセナ」をテーマに、企業メセナの未来を探るセミナーシリーズの第3回。新たな視点で企業メセナの価値を考える場として、SDGsに関する事業プロデュースを行う川廷昌弘氏、企業メセナの担当者である木村純子氏、日本 NPO センター代表理事・萩原なつ子氏に講演いただいた。企業メセナが SDGsで果たす役割など、企業メセナと NPO の観点から芸術・文化を通じた社会課題解決について考える場とした。

※文化庁 平成 31 年度「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」委託事業

- 日時：2019年10月25日(金)16:00~18:00
- 会場：浜松町コンベンションホール 大ホール
- ゲスト：

川廷昌弘 (㈱博報堂 DY ホールディングス CSR グループ推進担当部長)

木村純子 (キヤノン㈱) CSR 推進部部长/ピープルズ・ホープ・ジャパン 運営委員)

萩原なつ子(立教大学・教授/(認特)日本 NPO センター代表理事)

- モデレーター：澤田澄子(企業メセナ協議会 常務理事兼事務局長)
- 参加者：93名(会員74名、一般19名)



- 上記セミナーでは、参加者アンケートより約80%から「満足/非常に満足」の好評を得た。

会員ネットワーキング

- 国内外における企業メセナの先進事例を紹介、より幅広い会員交流の場をつくり、発信した。

【新入会員ファーストミーティング】

- 会員ネットワーキンググループ幹事の主催で「新入会員ファーストミーティング」を開催し、2019年は4社・団体の新会員が参加した。各社団体に取組むメセナ活動のプレゼンテーションや、協議会の活動概要等を説明したほか、懇親会では会員ネットワーキンググループのメンバーと事務局スタッフも含め、相互に交流を深めた。

- 日 時 : 2019年7月10日(水)15:00~17:30
- 会 場 : 協議会事務所
- 参加会員: 14名 (うち新入会員以下4社・団体)
 岡本貴史、泉谷眞莉奈(アコム)
 細谷竜臣、柳原 薫(エイベックス)
 高橋 司、皆川倫子(鹿島美術財団)
 橋本研一郎、三浦善太郎(吉田秀雄記念事業財団)



【会員ネットワーキング勉強会】

- 6回目の勉強会では、海外メセナの事例を紹介する視察を企画・実施した。現代アートの展示を行う「エスパス ルイ・ヴィトン東京」やフランスの財団「フォンダシオン ルイ・ヴィトン」の取り組みから、テーマに基づいた所蔵品コレクションをはじめ、他の美術館や芸術文化団体などとの連携による世界規模の芸術支援を学ぶ機会を得た。会員各社・団体をはじめ、グローバルな先進事例に関心の高い担当者が参加し、館内を貸し切って作品に触れる体験とともに、自社の企業メセナについて再考するきっかけとなった。

第6回 会員ネットワーキング勉強会 「エスパス ルイ・ヴィトン東京 視察ツアー ～海外メセナに学ぶ～」

- 日 時 : 2月26日(火)10:30~11:30
- 視察先 : エスパス ルイ・ヴィトン東京(東京都渋谷区)
- スピーカー: 西田直子、早田あゆみ(エスパス ルイ・ヴィトン東京)
- 参加者 : 29名(会員27名、一般2名)



大型美術作品や浮世絵展示、貸しスタジオなどを鑑賞した後、東横イン独自のメセナ活動や滞在アーティストによる作品紹介などを実施した。美術関係の会員各社・団体をはじめ、文化施設運営や事業企画に従事する担当者など幅広い参加者が集い、企業担当者とアーティストの垣根を超えた交流の輪を広げることが出来た。

第7回 会員ネットワーキング勉強会 「ART FACTORY 城南島 見学ツアー ～まちの新たなアート拠点を訪ねる～」

- 日 時 : 5月28日(火)14:00～16:45
- 視察先 : ART FACTORY 城南島(東京都大田区)
- スピーカー: 牧野健太郎、内田智士(東横イン)、タノタイガ、新藤杏子(アーティスト)
- 参加者 : 19名(会員17名、一般2名)



- 上記2活動については、メセナライターの記事および事後レポートを作成し、協議会ウェブサイトで発信した。

【メセナ音楽部】

- 第3回「メセナ音楽部」では、地方会員で群馬県高崎市にある「ガトーフェスタ ハラダ」の本社工場を訪ねた。工場見学のほか、本業と芸術支援の両輪を大切にする企業理念のもと、地域に根差して企業メセナを展開する好事例として、目標のたて方や実施スケジュール、集客方法など、担当者ならではの視点でお話いただいた。活動動画やホール見学などを通し、地元密着で芸術文化を身近に楽しめる環境や取り組み姿勢を学び、大変好評を得た。当日はメセナライターの記事も実施し、記事として協議会ウェブサイトで発信した。

第3回 メセナ音楽部 「ガトーフェスタ ハラダ 視察ツアー」

- 日 時 : 8月30日(金)15:00～17:30
- 視察先 : 本社工場シャトー・デュ・エスポワール(群馬県高崎市)
- スピーカー: 原田節子、山田真也((株)原田)
- 参加者 : 12名(会員9名、一般3名)



■ 国際交流

- オランダ・アムステルダムのごッホ美術館より、訪問依頼があり、10月8日に協議会事務所で受入れを行った。ごッホ美術館マネージャー2名が来訪し、同美術館と協議会の組織や活動について情報交換を行った。さらに、翌日9日に行われたごッホ美術館主催のグローバルサークルレセプションに招待され、美術館関係者だけでなく参加した日本企業や大使館の方々と交流を深めた。また、8日の来訪、9日のレセプション参加の両件をニューストピックスとして協議会英語ウェブサイトへ掲載した。引き続き、今後も情報交換を行なっていく。
- 12月下旬にフランス・ナントの国立現代芸術センター、リュウ・ユニックより2021年度プロジェクトの協力について打診があり、2020年度以降検討することになっている。

■ 地域メセナ交流・推進

各地域の文化振興に寄与

- 全国メセナネットワークの総会・交流会に参加し、各地のメセナ団体とそれぞれの取組・課題について発表するなど情報交換を行った。視察も行い、実際に行われている活動について理解を深めた。
- コーディネート事業を中心として、具体的な相談に応じ提案等を行った。損害保険ジャパン日本興亜(株)が設立した「SOMPOアート・ファンド」では、全国各地のアートフェスティバルやアートプロジェクトに対する助成を行い、企業と自治体、アートNPOや市民をつなぐプラットフォームとしての機能を充実させるよう努めた。
- 「This is Mecenat」認定、「メセナアワード」受賞活動等のプレスリリース発行に際しては、該当する地域の活動を中心に編集しその地域メディアに積極的に働きかけるなど、それぞれの活動に対する理解を広めるよう努めた。

1-6. コーディネート、協力

■ 芸術文化振興の専門機関として幅広い相談・協力に対応

- 企業メセナの専門機関として、協議会に蓄積された情報や知見を活かし、公益芸術団体など芸術文化振興に関わる幅広い相談に応じる他、具体的なメセナプログラムの開発や協力、コーディネート事業を展開。企業間および企業と他のセクターをつなぐ役割を担った。
- 東京都が2020年に向けて都民のボランティア参加を促すべく、「東京都ボランティア活動推進協議会 気運醸成分科会」を設置。この構成機関として依頼があり、経団連1%クラブや経済同友会、東京商工会議所ほか、教育機関や中間支援組織等とともに会議に参加している。東京都の主催により「共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞」が設けられ、企業メセナでボランティア活用に取り組む案件の推薦を依頼され対応した。
- トヨタ自動車が発行するアートマネジメントに関する総合サイト「ネット TAM」については、本年度も継続して事務局を担い、毎月の定例会議を行いながらトヨタ自動車との協働により内容の充実を実現している。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、引き続き文化プログラムをテーマに

各コンテンツを展開した。来年はオリンピックイヤーとなるため、その後のサイトのテーマ再設定や方向性を位置づける材料として、また、よりよいサイトづくりをめざして 2011 年以降全体で久しく行っていなかったことから 2019 年 9 月 9 日～11 月 10 日にかけて大々的に読者アンケートをネット上で実施。525 件の回答を得た。

トヨタ自動車	アートマネジメント総合情報サイト「ネット TAM」の運営
<p>主な業務内容:アートマネジメント総合情報サイト「ネット TAM」(www.nettam.jp)事務局の運営、サイトの管理・運営、コンテンツの企画・制作、運営事務局の定例会開催、メルマガ配信(毎月 1 日)、SNS 管理・運営</p> <p>• アクセス数(年間) 訪問数:約 111 万、ユーザー数:約 50 万、ページビュー:約 348 万</p> <p>• 主な更新内容: コンテンツ連載(月 1～3 件更新)</p> <p>【オリンピアド文化通信】・・・オリンピック文化プログラムに関する情報発信レポート。 【リレーコラム】・・・アートマネジメントの現場で活躍中の方々が 1 つのテーマに沿ってリレー形式でつなぐエッセイ。</p> <p>・「移動は文化」(~2019 年 4 月) ・「文化政策研究とアートマネジメントの現場」(2019 年 10 月～)</p> <p>【ネット TAM 講座】・・・ウェブで学ぶアートマネジメント講座。 ・アートに関する法律入門(改稿版) ・実践編「芸術文化助成」</p> <p>【芸術環境 KAIZEN 事例集】・・・アートの現場を改善する画期的な取り組み、仕組みを紹介。 ・アート×ビジネス・ソリューション—美術手帖の場合</p> <p>【英語版サイト】「Olympiad Culture Express」「Pick up Column」</p>	



【その他協力依頼対応】

■講義・出演

依頼元	内容(期間・開催日)
一般社団法人 日本バレエ団連盟	日時:2019年11月15日(金) 会場:芸能花伝舎 講演:「未来をきり拓く企業メセナ」

■委員・役員

依頼元	内容(期間・開催日)
文化庁	「文産官連携会議」委員 (2019年11月26日～2020年3月31日)
文化庁	第31回芸術文化助成財団協議会と文化庁との連絡会議 (2019年1月21日)

依頼元	内容(期間・開催日)
東京都	東京都ボランティア推進協議会構成団体 (2015年9月3日～)
静岡県	「静岡県文化政策審議会」委員 (2019年7月26日～2021年7月25日)
横浜市	平成30年度「横浜市広報企画審議会」委員 (2018年7月1日～2019年6月30日) 平成31年度「横浜市広報企画審議会」委員 (2019年7月1日～2020年6月30日)
船橋市	「船橋市文化振興推進協議会」委員 (2019年4月1日～2021年3月31日)
特定非営利活動法人 日本NPOセンター	評議員 (2017年7月1日～2019年6月30日)
認定NPO法人 トリトン・アーツ・ネットワーク	第6期評価委員会委員(2017年～2020年)

■執筆

依頼元	内容
公益財団法人 公益法人協会	機関紙『公益法人』2019年 No.3 巻頭言「未来をきり拓く」
藝能学会	機関紙『年間藝能』25章(2019年3月31日刊行) 「メセナ協議会の仕事」

■資料使用

依頼元	内容
上海戯劇学院・中国劇院 開発研究センター	論文執筆のため 使用資料:『メセナ note』第55号
国立大学法人 小樽商科大学	編入学試験(企業法学科) 使用資料:「メセナとは」
大阪市立大学大学院 都市経営研究科 藤岡達也	修士論文執筆のため 使用資料:「2019年度企業のメセナ活動実態調査票」

■取材協力

依頼元	内容(期間・開催日)
日本経済新聞社	日本経済新聞社主催インターンシップ(記者体験) (2019年1月31日)

依頼元	内容(期間・開催日)
アートサポートふくおか	「企業メセナ活動実態調査」に関するヒアリング (2019年8月21日)
日本ユニシス株式会社	「CU(Club Unisys)」(2019年9月20日インタビュー掲載) 「「アヴェ・マリア」に込められた感謝と次世代育成への思い」
武蔵野音楽大学 音楽学部 深貝彩子	企業メセナの現状や課題について (2019年12月13日)

■後援 ラベル提供

依頼元	内容(期間・開催日)
特定非営利法人 世界劇場会議名古屋	世界劇場会議国際フォーラム 2019in 可児 (2019年2月7日、2月8日)
公益財団法人 沖縄県文化振興会	パートナーシップによる企業の文化活動～新しいメセナのカタチ～ (2019年3月1日)
株式会社リソー教育	復興支援チャリティイベント第20回トーマス・コンサート (2019年3月31日)
ローム株式会社	ロームミュージックフレンズ No.8(2019年4月8日) ロームミュージックフレンズ No.9(2019年11月6日)
株式会社アーバネット コーポレーション	ART MEETS ARCHITECTURE COMPETITION 2019 応募要項 (2019年5月10日)
特定非営利活動法人 世界劇場会議名古屋	世界劇場会議名古屋 フォーラム 2019 (2019年6月28日)
ICOM 京都大会 2019 組織委員会	ICOM(国際博物館会議)京都大会 2019 (2019年9月1日～9月7日)
特定非営利活動法人 世界劇場会議名古屋	世界劇場会議国際フォーラム 2020in 可児 (2020年1月30日、1月31日)

■大学生の実習・インターンシップ受入れ

- 昭和音楽大学ではアートマネジメントの授業の一環として実習・インターンシップ制度を取り入れており、同大学からの依頼によりアートマネジメントコースの学生1名を受入れ、協議会の活動や企業メセナについての理解を深めてもらう機会を提供した。

公 2: 芸術・文化活動等への寄付を促す助成に関する事業

2-1. 2019 年重点活動

■助成事業の体系化

より分かりやすく、一層多様な支援が行えるよう、助成事業全体の過去実績データを様々な観点から分析し、助成認定制度と 2021Arts Fund の制度運用について再検討を行い、体系的な整理を実施した。新たな運用を 2021 年 1 月に開始すべく、タスクの整理、スケジュール化を行い、来年度にかけて進めていく。

■助成事業 Web システム「かるふあん！」のシステム改良

2019 年は、管理機能だけでなく、寄付者側、活動者側それぞれの利便性向上のための改良を実施した。システム操作に対するお問い合わせや利用者から要望の反映など、今後も改良すべき点もあり、新しい体系のシステムへの組み込みもあるため、来年度も継続し、さらなる改善を推進する。また、GBFund の制度・運営の見直しをシステムでも対応できるよう改良を実施した。

■助成事業のデータベースの活用促進

活動者の利便性を高め、多様な支援が行えるよう、助成事業全体の蓄積されたデータを整理し、分析・活用の土台づくりを進めている。2019 年は、過去のシステム化以前の助成事業の資料をデータ化、ファイルメーカーへのデータインポートを実施した。今後、助成 Web システムの「かるふあん！」の改良に伴って、ファイルメーカー側も対応し、より活用しやすくなるよう改善を推進する。

2-2. 2019 年 助成事業の活動状況

2-2-1. 2021 芸術・文化による社会創造ファンド[2021ArtsFund]

■全体の利用実績

1. 【申請・採択状況】

(1) 芸術・文化団体による活動の利用状況

・2019 年度各回利用実績

実施回	選考日	申請数	採択数
第 1 回	2019 年 3 月 13 日	7 件	7 件
第 2 回	2019 年 6 月 24 日	5 件	4 件
第 3 回	2019 年 9 月 25 日	7 件	6 件
第 4 回	2019 年 12 月 9 日	4 件	3 件
合計		23 件	20 件

・年度別利用状況の推移

実施年度	申請数	採択数
2016 年度	20 件	16 件
2017 年度	27 件	22 件
2018 年度	23 件	19 件
2019 年度	23 件	20 件

(2)目的別ファンドの継続運用と寄付者の要望に沿った寄付コーディネートを実施。

・SOMPO アート・ファンド（2016年6月設立）

当ファンドの特徴である、各地の活動をつなげ、ネットワークの形成を目指した活動報告会を実施。2019年は3月5日に、活動団体が一同に会し、交流の場を創出した。活動の成果や課題を共有することによって、活動がよりよい活動となることに貢献した。

実施回	選考日	申請数	採択数
第1回	2016年7月22日	公募実施せず	18件
第2回	2017年5月15日	98件	20件
第3回	2018年1月26日	137件	16件
第4回	2019年2月1日	152件	16件

※第5回は114件の申請があり、現在選考中。

・The Okura Tokyo Cultural Fund（2017年3月設立・2019年10月名称変更）

実施回	選考日	助成総額	採択数
第1回	2017年3月16日	2,774,000円	3件
第2回	2018年3月6日	1,000,000円	2件
第3回	2018年12月17日	900,000円	2件
第4回	2020年3月予定	-	-

※活動の公募は実施しない。

2.【寄付・助成状況】 SOMPO アート・ファンド、Hotel Okura Tokyo Cultural Fundを含む

年度	寄付総額	助成総額
2016年度	377,876,359円	312,131,769円
2017年度	256,823,600円	191,149,911円
2018年度	332,193,261円	300,837,133円
2019年度	326,212,289円	324,521,423円

2-2-2. 「芸術文化による災害復興支援ファンド」(GBFund)

■全体の利用実績

1.【申請・採択状況】2017年1月名称変更より

2018年7月以降、ファンドの運営方法を変更し、2019年は新規活動申請の公募は実施せず、継続案件の追加助成申請や寄付先指定寄付にて助成を実施。

実施回	選考日	申請数	採択数
第1回	2017年7月14日	54件	11件
第2回	2018年7月13日	46件	13件
2019年	2019年2月27日	10件	10件

※申請数、採択数には、追加支援を含む

2. 【寄付・助成状況】※2011年3月設立「東日本大震災による復興支援ファンド」を含む

年度	寄付金総額	寄付金累計額	助成金総額	助成金累計額
2017年度	4,367,060円	159,085,370円	4,897,390円	145,430,577円
2018年度	1,445,824円	160,531,194円	3,080,000円	148,510,577円
2019年度	1,532,627円	162,063,821円	1,303,127円	149,813,704円

2-2-3. 助成認定制度

■ 小さな活動を支援する、寄付集めの入り口として定着

2021 Arts Fund 運用開始後、中・小規模の活動にご利用いただき、任意団体や比較的身近な芸術・文化活動を実施されている方々を支援する制度として定着してきた。継続して利用している団体も多いが、新たに寄付集めに挑戦しようとする団体もある。月1回実施している助成相談日については、2019年度相談件数41件に対応し、制度拡大を推進している。

■ 全体の利用実績

1. 【申請・認定状況】

実施回	審査日	申請件数	認定件数
第1回	2019年3月13日	19件	16件
第2回	2019年6月24日	29件	24件
第3回	2019年9月25日	21件	20件
第4回	2019年12月9日	17件	10件
合計		86件	70件

2. 【年度別利用状況の推移】

実施年度	申請数	認定数
2016年度	102件	81件
2017年度	72件	65件
2018年度	88件	72件
2019年度	86件	70件

3. 【助成認定制度を通じた寄付件数と寄付金額】

年度	寄付件数	寄付総額	助成総額
2016年度	337件	62,765,639円	67,485,639円
2017年度	412件	76,613,798円	77,024,613円
2018年度	471件	74,981,467円	75,820,652円
2019年度	499件	75,797,558円	73,572,558円

以上